

付録－02 一括記録請求ファイル(共通フォーマット形式)チェック仕様

➤ 一括記録請求ファイル(集信1)のチェック仕様について記載します。なお、各項目の詳細については表 付録－2に記載します。

1. チェック順序

- (1) 表 付録－2中のチェック対象が「ファイル全体」の場合
チェック処理を打ちきりファイル全体をエラーとして扱います。
- (2) 表 付録－2中のチェック対象が「ファイル全体(取引一回当たり限度額)」の場合
対象となるチェックについては、エラーを検出した場合でも、ファイル全体のチェックが終わるまではチェックを継続します。
- (3) 表 付録－2中のチェック対象が「ファイル全体」、「ファイル全体(取引一回当たり限度額)」以外の場合、表 付録－2中の項番順に従いチェックを継続します。

2. エラーの出力先

チェックタイミングとエラー出力先画面について、表 付録－0に記載します。表 付録－2中の出力先が「画面」となっているチェックはエラーメッセージを画面表示します。また、出力先が「ファイル」となっているチェックは一括記録請求結果ファイル(配信1)にエラー内容を出力します。同ファイルは、画面からのダウンロードにより取得可能です。

表 付録－0 チェックタイミングとエラー出力先画面

チェックタイミングとエラー出力先画面		アップロード方法		
		①一括記録メニュー画面にて、「登録」ボタンを選択してアップロードした場合(既存ルート)	②一括記録メニュー画面にて、「非同期登録」ボタンを選択してアップロードした場合	④一括記録メニュー画面にて、「テスト」ボタンを選択してアップロードした場合
仮登録	チェックタイミング	SCKCMN11101(一括記録請求仮登録画面)にて、「仮登録の確認へ」ボタン押下時、および SCKCMN11102(一括記録請求仮登録確認画面)にて、「仮登録の実行」ボタン押下時	SCKCMN11101(一括記録請求仮登録画面)にて、「仮登録依頼の実行」ボタン押下後の、仮登録処理(非同期)、および SCKCMN11106(一括記録請求仮登録結果通知情報詳細画面)にて、「承認依頼の実行」ボタン押下時	SCKCMN11191(一括記録請求(導入テスト)画面)にて、「テストの実行」ボタン押下時
	エラー出力先画面	SCKCMN11101(一括記録請求仮登録画面)、 SCKCMN11102(一括記録請求仮登録確認画面)	SCKCMN11101(一括記録請求仮登録画面)※1、 SCKCMN11106(一括記録請求仮登録結果通知情報詳細画面)	SCKCMN11191(一括記録請求(導入テスト)画面)
承認	チェックタイミング	SCKCMN11201(一括記録請求承認待ち画面)にて、「承認の実行」ボタン押下時	SCKCMN11201(一括記録請求承認待ち画面)にて、「承認の実行」ボタン押下時、および 「承認の実行」押下後の、承認処理(非同期)	—
	エラー出力先画面	SCKCMN11201(一括記録請求承認待ち画面)	SCKCMN11201(一括記録請求承認待ち画面)、 SCKCMN12102(一括記録結果詳細画面)	—
修正／削除	チェックタイミング	SCKCMN11302(一括記録請求仮登録修正画面)にて、「修正内容の確認へ」ボタン押下時、および SCKCMN11303(一括記録請求仮登録修正確認画面)にて、「修正の実行」ボタン押下時	—	—
	エラー出力先画面	SCKCMN11302(一括記録請求仮登録修正画面)、 SCKCMN11303(一括記録請求仮登録修正確認画面)	—	—

※1: 金融機関利用申込オプション「取引先情報のファイル登録機能の利用有無」において「利用する」を選択した場合のみ、エラー時に取引先情報ファイル登録処理中である旨のメッセージを出力する。

3. エラー単位

チェック対象が「ファイル全体」以外のチェックでエラーが発生した場合のエラー単位について、表付録-1に記載します。ダイヤルアップ集配信機能からの請求の場合には、ファイル全体をエラーとするか、または正常分のサブファイルだけ承認可能とするかをセンタ(お客様側センタ確認コード)ごとに選択できます。本選択はダイヤルアップ集配信機能の利用企業情報を申込む際に申込書上の「一部エラー発生時対応区分」で指定できます。

表 付録-1 エラー単位

アップロード方法	一部エラー発生時対応区分	チェック対象が「ファイル全体」以外のチェックでエラーが発生した場合のエラー単位
①一括記録メニュー画面にて、「登録」ボタンを選択してアップロードした場合(既存ルート)	—	ファイル単位 (同一ファイル内の全レコードがエラー扱いとなります。)
②一括記録メニュー画面にて、「非同期登録」ボタンを選択してアップロードした場合		
③一括記録メニュー画面にて、「テスト」ボタンを選択してアップロードした場合	—	ファイル単位 (同一ファイル内の全レコードがエラー扱いとなります。)

4. 一括記録請求結果ファイル(配信1)の編集内容

データレコードの編集内容を表 付録-1-1に記載します。

なお、一括記録請求ファイル(集信1)のサブファイル数に関わらず、一括記録請求結果ファイル(配信1)のサブファイルは1件となります。

(1)チェック対象が「ファイル全体」で出力先が「ファイル」のエラーの場合

一括記録請求結果ファイル(配信1)のデータレコードは1件となり、「エラーコード1」「項目番号1」に該当のエラーを設定します。

(2)チェック対象が「ファイル全体」以外で出力先が「ファイル」のエラーの場合

一括記録請求ファイル(集信1)のデータレコードの件数分、一括記録請求結果ファイル(配信1)のデータレコードを出力します。

(3)ヘッダレコードまたはトレーラレコードでチェックエラーとなった場合

一括記録請求ファイル(集信1)のサブファイル内で、1件目のデータレコードに対応する一括記録請求結果ファイル(配信1)のデータレコードにエラー内容を出力します。

※一括記録請求結果ファイルの詳細については、『一括記録請求結果ファイル(共通フォーマット形式)』を参照 付録 P87

表 付録-1-1 一括記録請求結果ファイル(配信1)の編集内容

項目名	編集内容	備考
データ区分	2: データレコード	固定値
種別コード	80: 発生・譲渡通知	固定値
エラー区分	1: エラー 2: エラー(連鎖)	エラー(連鎖): ①一括記録メニュー画面にて、「登録」ボタンを選択してアップロードした場合、同一ファイル内の別レコードがエラーになると、エラーがないレコードについてもエラー扱いとなります。
エラーコード1	表 付録-2中のエラーコードを設定	エラー区分が「2:エラー(連鎖)」の時、設定しません。
項目番号1	表 付録-2中の項目番号を設定	同上。
エラーコード2	表 付録-2中のエラーコードを設定	複数のエラーがある場合、チェック順に最大 2 件まで設定する。また、エラー区分が「2:エラー(連鎖)」の時、設定しません。
項目番号2	表 付録-2中の項目番号を設定	同上。
上記以外	・DENTRANS内で検出したエラーの場合は、初期値を設定 ・でんさいネットで検出したエラーの場合は、通知 IF の値を設定	

一括記録請求ファイル(集信1)をマルチサブファイルで登録し、ヘッダ、データ、トレーラレコードにエラーがある場合に還元するエラー情報の例を、図 付録1に示します。

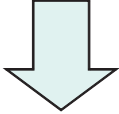
<前提条件>

- 一括記録請求ファイル(集信1)をマルチサブファイルで登録
- ヘッダ、データ、トレーラレコードにエラーがある

<一括記録請求ファイル(集信1)のチェック結果>

ヘッダ順	データ区分	チェック結果
1	1: ヘッダレコード	OK
	2: データレコード	NG
	2: データレコード	OK
	2: データレコード	NG
	8: トレーラレコード	OK
2	1: ヘッダレコード	NG
	2: データレコード	NG
	2: データレコード	OK
	2: データレコード	NG
	8: トレーラレコード	NG
-	9: エンドレコード	OK

(※1)



<一括記録請求結果ファイル(配信1)の出カイメージ>

データ区分	種別コード	...	エラー区分	エラー情報			
				エラーコード1	項目番号1	エラーコード2	項目番号2
1: ヘッダレコード	80:発生・譲渡通知						
2: データレコード			1:エラー	KCMN1004SE	D01		
2: データレコード			2:エラー(連鎖)				
2: データレコード			1:エラー	KCMN1002SE	D02	KCMN1029SE	D04
2: データレコード			1:エラー	KCMN1005SE	H01 (※1)	KCMN1009SE	T01 (※1)
2: データレコード			2:エラー(連鎖)				
2: データレコード			1:エラー	KCMN1030SE	D03		
8: トレーラレコード							
9: エンドレコード							

ヘッダ順1の
エラー情報

ヘッダ順2の
エラー情報

【項目番号の凡例】

H01 : ヘッダレコードのエラー(記録種別、記録請求日、請求者情報等)

D01~D04 : データレコードのエラー(取引相手情報、請求金額、記録番号等)

T01 : トレーラレコードのエラー(合計件数、合計金額等)

※1 ヘッダ順2のヘッダレコード、トレーラレコードに2件以上エラーがあった場合、ヘッダ順2の1件目のデータレコードのエラーは出力されない

図 付録-1 還元するエラー情報の例

5. 保証なし譲渡の確認の流れ

一括記録請求において保証記録「無」が含まれる場合、その旨の注意喚起のメッセージを表示します。

6. 注意事項

・DENTRANSで行うチェックについては、DENTRANS内に保持する情報とのチェックとなるため、でんさいネット側のみに保有する情報など、でんさいネット側でのみ行うチェックも存在します。

チェック要否欄
 ○：チェックする
 ×：チェックしない

表 付録-2 一括記録請求ファイル（集信1）のチェック仕様（1/8）

項番	チェック対象	チェック条件	項目番号	エラーコード	出力先	チェック要否					
						アップロード方法					
						①一括記録メニュー画面にて、「登録」ボタンを選択してアップロードした場合	②一括記録メニュー画面にて、「非同期登録」ボタンを選択してアップロードした場合	③ダイヤルアップ集配情報前を使用してアップロードした場合		④一括記録メニュー画面にて、「テスト」ボタンを選択してアップロードした場合	⑤一括記録結果一覧画面にて、「登録」ボタンを押下した場合（再請求時）
③ダイヤルアップ集配情報前を使用してアップロードした場合		③ダイヤルアップ集配情報前を使用してアップロードした場合		③ダイヤルアップ集配情報前を使用してアップロードした場合		③ダイヤルアップ集配情報前を使用してアップロードした場合					
お客様センター確認コードが 適用の場合		お客様センター確認コードが 適用の場合		お客様センター確認コードが 適用の場合		お客様センター確認コードが 適用の場合					
1	ファイル全体 (サービス利用可否)	ファイル送信時に指定されたお客様センター確認コードの商用サービス終了日を過ぎていないこと。	—	KCMN1046Se	画面	×	×	○	○	×	×
2		ファイル送信時に指定されたお客様センター確認コードの商用サービス開始日を過ぎていないこと。	—	KCMN1047Se	画面	×	×	○	×	×	×
3		ファイル送信時に指定されたお客様センター確認コードに紐づく全法人1B契約内のユーザの内、ダイヤルアップ集配信（担当者権限）を保有するユーザが一人以上存在すること。	—	KCMN1038Se	画面	×	×	○	○	×	×
4		ファイル送信時に指定されたお客様センター確認コードに紐づく集信対象アカウントについて、すべてのアカウントの法人1B契約が同一の法人1B契約であること。（予約中の情報を含まない。）	—	KCMN1064Se	画面	×	×	△ 【チェック実行条件】 (注11) パターンNo. 2、4、6、8、10、12のいずれかに該当する場合	×	×	×
5		ファイル送信時に指定されたお客様センター確認コードに紐づく集信対象アカウントについて、すべてのアカウントの法人1B契約が同一の法人1B契約であること。（予約中の情報を含む。）	—	KCMN1064Se	画面	×	×	×	△ 【チェック実行条件】 (注11) パターンNo. 2、4、6、8、10、12のいずれかに該当する場合	×	×
6	ファイル全体	ファイルサイズが上限を超えていないこと。	—	KCMN1054Se	画面	○	○	○	○	○	×
7		ファイル内にデータが存在すること。	—	KCMN1031Se	ファイル	○	○	○	○	○	×
8		レコード長が250バイトであること。	H01~E02	KCMN1001Se	ファイル	○	○	○	○	○	×
9		ファイルの先頭がヘッダレコードであること。	H01	KCMN1002Se	ファイル	○	○	○	○	○	×
10		エンドレコードが存在すること。	E01	KCMN1011Se	ファイル	○	○	○	○	○	×
11		ヘッダレコードの場合、先頭にあるか、前のレコードがトレーラレコードであること。	H01	KCMN1003Se	ファイル	○	○	○	○	○	×
12		データレコードの場合、前のレコードがヘッダレコードかデータレコードであること。	D01	KCMN1003Se	ファイル	○	○	○	○	○	×
13		トレーラレコードの場合、前のレコードがデータレコードであること。	T01	KCMN1003Se	ファイル	○	○	○	○	○	×
14		エンドレコードの場合、前のレコードがトレーラレコードであること。	E01	KCMN1003Se	ファイル	○	○	○	○	○	×
15		項番6~14のチェックにエラーがない場合、データレコードの件数が1,000件以内であること。	—	KCMN1008Se	画面	△ 【チェック実行条件】 金融機関オプション「ダイヤルアップ集配信機能の利用有無」が「利用しない」の場合、または(注11) パターンNo. 5~12のいずれかに該当する場合	△ 【チェック実行条件】 (注11) パターンNo. 9~12のいずれかに該当する場合	△ 【チェック実行条件】 (注11) パターンNo. 9~12のいずれかに該当する場合	△ 【チェック実行条件】 (注11) パターンNo. 9~12のいずれかに該当する場合	○	×
16		項番6~14のチェックにエラーがない場合、データレコードの件数が各金融機関で設定された上限件数（注1）以内であること。	—	KCMN1039Se	画面	△ 【チェック実行条件】 (注11) パターンNo. 1~4のいずれかに該当する場合	×	×	×	×	×
17		項番6~14のチェックにエラーがない場合、サブファイルごとのデータレコードの件数が1,000件以内であること。	—	KCMN1040Se	画面	×	△ 【チェック実行条件】 (注11) パターンNo. 1~8のいずれかに該当する場合	△ 【チェック実行条件】 (注11) パターンNo. 1~8のいずれかに該当する場合	△ 【チェック実行条件】 (注11) パターンNo. 1~8のいずれかに該当する場合	×	×
18		項番6~14のチェックにエラーがない場合、ファイル内のヘッダレコードの数が30以内であること。	—	KCMN1041Se	画面	×	○	○	○	×	×
19		項番6~14のチェックにエラーがない場合、ファイル内の全データレコードの件数が20,000件以内であること。	—	KCMN1042Se	画面	×	△ 【チェック実行条件】 (注11) パターンNo. 1~8のいずれかに該当する場合	△ 【チェック実行条件】 (注11) パターンNo. 1~8のいずれかに該当する場合	△ 【チェック実行条件】 (注11) パターンNo. 1~8のいずれかに該当する場合	×	×

表 付録-2 一括記録請求ファイル(集信1)のチェック仕様(2/8)

項番	チェック対象	チェック条件	項目番号	エラーコード	出力先	チェック要否							
						アップロード方法							
						①一括記録メニュー画面にて、「登録」ボタンを選択してアップロードした場合	②一括記録メニュー画面にて、「非同期登録」ボタンを選択してアップロードした場合	③ダイヤルアップ無記憶機能を使用してアップロードした場合		④一括記録メニュー画面にて、「テスト」ボタンを選択してアップロードした場合	⑤一括記録結果一覧画面にて、「登録」ボタンを押下した場合(再請求時)		
		お客様側センタ確認コードが 異なる場合	お客様側センタ確認コードが テスト用の場合										
20	種別コード	種別コードが指定されていること。	H02	KCMN1004SE	ファイル	○	○	○	○	○	○	×	
21		種別コードが半角数字であること。	H02	KCMN1002SE	ファイル	○	○	○	○	○	○	×	
22		種別コードが発生記録請求(債務者請求方式)“11”または発生記録請求(債権者請求方式)“12”または譲渡記録請求“20”または分割記録請求“30”のいずれかであること。	H02	KCMN1005SE	ファイル	○	○	○	○	○	○	×	
23	文字コード区分	文字コード区分が指定されていること。	H03	KCMN1004SE	ファイル	○	○	○	○	○	○	×	
24		文字コード区分が半角数字であること。	H03	KCMN1002SE	ファイル	○	○	○	○	○	○	×	
25		文字コード区分がJIS“0”またはEBCDIC“1”であること。	H03	KCMN1005SE	ファイル	○	○	○	○	○	○	×	
26	記録請求日	記録請求日が指定されていること。	H04	KCMN1004SE	ファイル	○	○	○	○	○	○	×	
27		記録請求日が8桁かつ半角数字であること。	H04	KCMN1002SE	ファイル	○	○	○	○	○	○	×	
28		記録請求日が実在する日付であること。	H04	KCMN1005SE	ファイル	○	○	○	○	○	○	×	
29	請求者情報	請求者情報の利用者番号が指定されていること。				-	-	-	-	-	-	-	
30		利用者番号	請求者情報の利用者番号が指定されていること。	H05	KCMN1004SE	ファイル	○	○	○	○	○	○	×
31			請求者情報の利用者番号が9桁かつ半角英数字であること。	H05	KCMN1002SE	ファイル	○	○	○	○	○	○	×
32			請求者情報の利用者番号がファイル内で同一であること。	H05	KCMN1055SE	ファイル	×	△ 【チェック実行条件】 (注11)パターンNo.1、2、5、6、9、10のいずれかに該当する場合	△ 【チェック実行条件】 (注11)パターンNo.2、6、10のいずれかに該当する場合	△ 【チェック実行条件】 (注11)パターンNo.2、6、10のいずれかに該当する場合	×	×	×
33		法人名/個人事業者名カナ	請求者情報の法人名/個人事業者名カナがシステムで規定された半角文字(注2)であること。	H06	KCMN1002SE	ファイル	○	○	○	○	○	○	×
34		金融機関コード	請求者情報の金融機関コードが指定されていること。	H07	KCMN1004SE	ファイル	○	○	○	○	○	○	×
35	請求者情報の金融機関コードが4桁かつ半角数字であること。		H07	KCMN1002SE	ファイル	○	○	○	○	○	○	×	
36	金融機関名カナ	請求者情報の金融機関名カナがシステムで規定された半角文字(注2)であること。	H08	KCMN1002SE	ファイル	○	○	○	○	○	○	×	
37	支店コード	請求者情報の支店コードが指定されていること。	H09	KCMN1004SE	ファイル	○	○	○	○	○	○	×	
38		請求者情報の支店コードが3桁かつ半角数字であること。	H09	KCMN1002SE	ファイル	○	○	○	○	○	○	×	
39	支店名カナ	請求者情報の支店名カナがシステムで規定された半角文字(注2)であること。	H10	KCMN1002SE	ファイル	○	○	○	○	○	○	×	
40	預金種目	請求者情報の預金種目が指定されていること。	H11	KCMN1004SE	ファイル	○	○	○	○	○	○	×	
41		請求者情報の預金種目が半角数字であること。	H11	KCMN1002SE	ファイル	○	○	○	○	○	○	×	
42		請求者情報の預金種目が普通“1”または当座“2”またはその他“9”であること。	H11	KCMN1005SE	ファイル	○	○	○	○	○	○	×	
43	口座番号	請求者情報の口座番号が指定されていること。	H12	KCMN1004SE	ファイル	○	○	○	○	○	○	×	
44		請求者情報の口座番号が4桁かつ半角数字であること。	H12	KCMN1002SE	ファイル	○	○	○	○	○	○	×	
45		請求者情報の口座番号がシステムに登録されていること。(予約中の情報を含まない。)	H12	KCMN1013SE	ファイル	○	○	○	×	○	○	○	
46		請求者情報の口座番号がシステムに登録されていること。(予約中の情報を含む。)	H12	KCMN1048SE	ファイル	×	×	×	○	×	×	×	

表 付録-2 一括記録請求ファイル（集信1）のチェック仕様（3/8）

項番	チェック対象	チェック条件	項目番号	エラーコード	出力先	チェック要否						
						アップロード方法						
						①一括記録メニュー画面にて、「登録」ボタンを選択してアップロードした場合	②一括記録メニュー画面にて、「非同期登録」ボタンを選択してアップロードした場合	③ダイヤルアップ集配機能を使用してアップロードした場合 ※お客様センター確認コードが 商用の場合		④一括記録メニュー画面にて、「テスト」ボタンを選択してアップロードした場合	⑤一括記録結果一覧画面にて、「登録」ボタンを押下した場合 (再請求時)	
47	ヘッダ レコード	口座番号	依頼者および承認者が請求情報の口座番号に対する権限を保有していること。	H12	KCMN1014SE	ファイル	○	○	△ 承認時のみチェックする。(ダイヤルアップ集配機能を利用する場合、仮登録時は依頼者が存在しないため。)	×	○	○
48		指定した承認者が請求情報の口座番号に対する権限を保有していること。	-	KCOM1266Se KCOM1267Se (注10)	画面	仮登録・修正時のみチェックする。 【チェック実行条件】 (注9) パターンNo. 1、2、5、6のいずれかに該当する場合	△ 仮登録のみチェックする。 【チェック実行条件】 (注9) パターンNo. 1、2、5、6のいずれかに該当する場合	×	×	×	△ 仮登録のみチェックする。 【チェック実行条件】 初回申請区分が同期、または、非同期の場合、(注9) パターンNo. 1、2、5、6のいずれかに該当する場合	
49		指定した最終承認者が請求情報の口座番号に対する権限を保有していること。	-	KCOM1268Se	画面	△ 一次承認時のみチェックする。 【チェック実行条件】 (注9) パターンNo. 2、6のいずれかに該当する場合	△ 一次承認時のみチェックする。 【チェック実行条件】 (注9) パターンNo. 2、6のいずれかに該当する場合	×	×	×	△ 一次承認時のみチェックする。 【チェック実行条件】 初回申請区分が同期、または、非同期の場合、(注9) パターンNo. 2、6のいずれかに該当する場合	
50		請求者情報の口座番号に対する権限および承認者権限を保有するユーザが存在すること。	-	KCOM1270Se KCOM1271Se (注10)	画面	△ 仮登録・修正時のみチェックする。 【チェック実行条件】 (注9) パターンNo. 3、4、7のいずれかに該当する場合	△ 仮登録時のみチェックする。 【チェック実行条件】 (注9) パターンNo. 3、4、7のいずれかに該当する場合	△ 仮登録時のみチェックする。 【チェック実行条件】 (注9) パターンNo. 3、4のいずれかに該当する場合	×	×	△ 仮登録時のみチェックする。 【チェック実行条件】 初回申請区分が同期、または、非同期の場合、(注9) パターンNo. 3、4、7のいずれかに該当する場合 初回申請区分がダイヤルアップの場合、(注9) パターンNo. 3、4のいずれかに該当する場合	
51		請求者情報の口座番号がファイル内で同一であること。	H12	KCMN1007SE	ファイル	○	△ 【チェック実行条件】 (注11) パターンNo. 3、4、7、8、11、12のいずれかに該当する場合	△ 【チェック実行条件】 (注11) パターンNo. 3、4、7、8、11、12のいずれかに該当する場合	△ 【チェック実行条件】 (注11) パターンNo. 3、4、7、8、11、12のいずれかに該当する場合	○	×	
52		請求者情報の口座番号が、ファイル送信時に指定されたお客様センター確認コードに、集信対象アカウントとして申込されているアカウント配下の口座であること。	H12	KCMN1043SE	ファイル	×	×	○	○	×	×	
53		請求者情報の口座番号が紐づく集信対象アカウントの商用サービス開始日を過ぎていること。	H12	KCMN1043Se	画面	×	×	○	×	×	×	
54		請求者情報の口座番号が紐づく集信対象アカウントの商用サービス終了日を過ぎていること。	H12	KCMN1043Se	画面	×	×	○	○	×	×	
55		請求者情報の口座番号が、法人IB契約のある口座であること。(予約中の情報を含まない。)	H12	KCMN1044SE	ファイル	×	×	○	×	×	×	
56		請求者情報の口座番号が、法人IB契約のある口座であること。(予約中の情報を含む。)	H12	KCMN1049SE	ファイル	×	×	×	○	×	×	
57	請求者情報の口座番号が、同一IB契約内の口座であること。(予約中の情報を含まない。)	H12	KCMN1056SE	ファイル	×	△ 【チェック実行条件】 (注11) パターンNo. 1、2、5、6、9、10のいずれかに該当する場合 ただし、金融機関ユーザが非法人IB企業の代りで請求する場合はチェックしない。	△ 【チェック実行条件】 (注11) パターンNo. 2、6、10のいずれかに該当する場合	×	×	×		
58	請求者情報の口座番号が、同一IB契約内の口座であること。(予約中の情報を含む。)	H12	KCMN1057SE	ファイル	×	×	×	△ 【チェック実行条件】 (注11) パターンNo. 2、6、10のいずれかに該当する場合	×	×		
59	利用者番号	請求者情報の利用者番号が、請求者情報の口座番号が属する利用者番号であること。(予約中の情報を含まない。)	H05	KCMN1015SE	ファイル	○	○	○	×	○		
60	請求者情報の利用者番号が、請求者情報の口座番号が属する利用者番号であること。(予約中の情報を含む。)	H05	KCMN1050SE	ファイル	×	×	×	○	×	×		
61	種別コード	種別コードが発行記録請求(債権者請求方式“12”の場合、金融機関および利用者の発生記録債権者請求方式取扱可否が“可”であること。(予約中の情報を含まない。)(注3)	H02	KCMN1033SE	ファイル	○	○	○	×	○		
62	種別コードが発行記録請求(債権者請求方式“12”の場合、金融機関および利用者の発生記録債権者請求方式取扱可否が“可”であること。(予約中の情報を含む。)(注3)	H02	KCMN1051SE	ファイル	×	×	×	○	×	×		
63	種別コードが発行記録請求(債務者請求方式“11”の場合、利用者の債務者利用可否が“可”であること。(予約中の情報を含まない。)(注4)	H02	KCMN1034SE	ファイル	○	○	○	×	○	○		
64	種別コードが発行記録請求(債務者請求方式“11”の場合、利用者の債務者利用可否が“可”であること。(予約中の情報を含む。)(注4)	H02	KCMN1052SE	ファイル	×	×	×	○	×	×		

表 付録-2 一括記録請求ファイル（集信1）のチェック仕様（4/8）

項番	チェック対象	チェック条件	項目番号	エラーコード	出力先	チェック要否					
						アップロード方法					
						①一括記録メニュー画面にて、「登録」ボタンを選択してアップロードした場合		②一括記録メニュー画面にて、「非同期登録」ボタンを選択してアップロードした場合		③ダイヤルアップ系記帳機能を使用してアップロードした場合	
65	ヘッダレコード	記録請求日が当日以降かつ当日の1ヶ月後以内の日付であること。	H04	KCMN1028SE	ファイル	○	○	○	○	○	○
66		記録請求日が当日の場合、一括記録請求の取り時限を過ぎていないこと。	(注7)			△ 金融機関オプション「一括記録請求時 限チェック有無」の利用有無が「利用 する」場合のみチェックする。	△ 金融機関オプション「一括記録請求時 限チェック有無」の利用有無が「利用 する」場合のみチェックする。	△ 金融機関オプション「一括記録請求 時 限チェック有無」の利用有無が「利用 する」場合のみチェックする。	×	×	△ 金融機関オプション「一括記録請求 時 限チェック有無」の利用有無が「利用 する」場合のみチェックする。
67	取引相手情報					-	-	-	-	-	-
68	利用者番号	取引相手情報の利用者番号が指定されていること。	D02	KCMN1004SE	ファイル	○	○	○	○	○	×
69		取引相手情報の利用者番号が9桁かつ半角英数字であること。	D02	KCMN1002SE	ファイル	○	○	○	○	○	×
70	金融機関コード	取引相手情報の金融機関コードが指定されていること。	D03	KCMN1004SE	ファイル	○	○	○	○	○	×
71		取引相手情報の金融機関コードが4桁かつ半角数字であること。	D03	KCMN1002SE	ファイル	○	○	○	○	○	×
72	金融機関名カナ	取引相手情報の金融機関名カナがシステムで規定された半角文字（注2）であること。	D04	KCMN1002SE	ファイル	○	○	○	○	○	×
73	支店コード	取引相手情報の支店コードが指定されていること。	D05	KCMN1004SE	ファイル	○	○	○	○	○	×
74		取引相手情報の支店コードが3桁かつ半角数字であること。	D05	KCMN1002SE	ファイル	○	○	○	○	○	×
75	支店名カナ	取引相手情報の支店名カナがシステムで規定された半角文字（注2）であること。	D06	KCMN1002SE	ファイル	○	○	○	○	○	×
76	預金種目	取引相手情報の預金種目が指定されていること。	D07	KCMN1004SE	ファイル	○	○	○	○	○	×
77		取引相手情報の預金種目が半角数字であること。	D07	KCMN1002SE	ファイル	○	○	○	○	○	×
78		取引相手情報の預金種目が普通「1」または当座「2」またはその他「9」であること。	D07	KCMN1005SE	ファイル	○	○	○	○	○	×
79	データレコード	口座番号				○	○	○	○	○	○
		種別コードが譲渡記録請求「20」または分割記録請求「30」の場合、かつ請求者が金融機関以外の利用者である場合、【共通サービス仕様-業務（融資：共通2）】の「金融機関譲渡口座宛への譲渡記録請求抑制有無」で「自行内の譲渡記録請求を認めない」を選択した場合、取引相手情報に指定された口座が譲渡譲受口座でないこと。	D08	KCMN1017SE	ファイル	○	○	○	○	○	○
80		取引相手情報の口座番号が指定されていること。	D08	KCMN1004SE	ファイル	○	○	○	○	○	×
81		取引相手情報の口座番号が7桁かつ半角数字であること。	D08	KCMN1002SE	ファイル	○	○	○	○	○	×
82	債権金額	債権金額が指定されていること。	D09	KCMN1004SE	ファイル	○	○	○	○	○	×
83		債権金額が半角数字であること。	D09	KCMN1002SE	ファイル	○	○	○	○	○	×
84	支払期日	種別コードが発生記録請求（債務者請求方式）「11」または発生記録請求（債権者請求方式）「12」の場合、支払期日が指定されていること。	D10	KCMN1004SE	ファイル	○	○	○	○	○	×
85		種別コードが発生記録請求（債務者請求方式）「11」または発生記録請求（債権者請求方式）「12」の場合、支払期日が8桁かつ半角数字であること。	D10	KCMN1002SE	ファイル	○	○	○	○	○	×
86		種別コードが発生記録請求（債務者請求方式）「11」または発生記録請求（債権者請求方式）「12」の場合、支払期日が実在する日付であること。	D10	KCMN1005SE	ファイル	○	○	○	○	○	×
87		種別コードが譲渡記録請求「20」または分割記録請求「30」の場合、支払期日が指定されていないこと。	D10	KCMN1006SE	ファイル	○	○	○	○	○	×
88	譲渡制限有無フラグ	種別コードが譲渡記録請求「20」または分割記録請求「30」の場合、譲渡制限有無フラグが指定されていないこと。	D11	KCMN1006SE	ファイル	○	○	○	○	○	×
89		譲渡制限有無フラグが半角数字であること。	D11	KCMN1002SE	ファイル	○	○	○	○	○	×
90		譲渡制限有無フラグが制限なし「0」または金融機関のみに制限「1」であること。	D11	KCMN1005SE	ファイル	○	○	○	○	○	×

表 付録-2 一括記録請求ファイル（集信1）のチェック仕様（5/8）

項番	チェック対象	チェック条件	項目番号	エラーコード	出力先	チェック要否					
						アップロード方法					
						①一括記録メニュー画面にて、「登録」ボタンを選択してアップロードした場合	②一括記録メニュー画面にて、「非同期登録」ボタンを選択してアップロードした場合	③ダイヤルアップ無記簿機能を使用してアップロードした場合		④一括記録メニュー画面にて、「テスト」ボタンを選択してアップロードした場合	⑤一括記録結果一覧画面にて、「登録」ボタンを押下した場合（再請求時）
		お客様側センタ確認コードが 商用の場合	お客様側センタ確認コードが テスト用の場合								
91	記録番号	種別コードが発生記録請求（債務者請求方式）“11”または発生記録請求（債権者請求方式）“12”の場合、記録番号が指定されていないこと。	D12	KCMN1006SE	ファイル	○	○	○	○	○	×
92		種別コードが譲渡記録請求“20”または分割記録請求“30”の場合、記録番号が指定されていること。	D12	KCMN1004SE	ファイル	○	○	○	○	○	×
93		種別コードが譲渡記録請求“20”または分割記録請求“30”の場合、記録番号が20桁かつ半角英数字であること。	D12	KCMN1002SE	ファイル	○	○	○	○	○	×
94	保証随伴フラグ	種別コードが発生記録請求（債務者請求方式）“11”または発生記録請求（債権者請求方式）“12”の場合、保証随伴フラグが指定されていないこと。	D13	KCMN1006SE	ファイル	○	○	○	○	○	×
95		種別コードが譲渡記録請求“20”または分割記録請求“30”の場合かつ請求者が金融機関以外の利用者である場合、（注16）のパターンNo1~4のとおりであること。	D13	KCMN1002SE	ファイル	○	○	○	○	○	○
96		保証随伴フラグが半角数字であること。	D13	KCMN1002SE	ファイル	○	○	○	○	○	×
97		保証随伴フラグが無“0”または有“1”であること。	D13	KCMN1005SE	ファイル	○	○	○	○	○	×
97-1		種別コードが譲渡記録請求“20”または分割記録請求“30”の場合かつ請求者が金融機関以外の利用者である場合、（注16）のパターンNo5のとおりであること。	D13	KCMN1124SE	ファイル	○	○	○	○	○	○
98	依頼人Ref. No.	数字（0~9）、英大文字（A~Z）と半角括弧、ピリオド、ハイフン（.、-）のいずれかであること。 左詰め残りは半角スペースであること。	D14	KCMN1002SE	ファイル	○	○	○	○	○	×
99	支払期日	種別コードが発生記録請求（債務者請求方式）“11”または発生記録請求（債権者請求方式）“12”の場合、支払期日が以下の範囲内であること。 ①ヘッダレコードの記録請求日が営業日の場合 記録請求日の6営業日後<支払期日≤記録請求日の10年後 ②ヘッダレコードの記録請求日が非営業日の場合 記録請求日の7営業日後<支払期日≤記録請求日の10年後	D10	KCMN1133SE	ファイル	○	○	○	○	○	×
100	取引相手情報					-	-	-	-	-	-
101	支店コード	支店コードが金融機関支店情報の支店コードと一致すること。	D05	KCMN1030SE	ファイル	○	○	○	○	○	○
101-1	記録番号	種別コードが譲渡記録請求“20”または分割記録請求“30”の場合、以下の条件であること。 ①【記録請求/開示】の「発生予約中債権の譲渡予約の制限機能の利用有無」が「利用する」の場合、該当の記録番号が記録日を迎えていること。 （注12）（注13）	D12	KCMN1066SE	ファイル	○	○	○	○	○	○
101-2			-	CCOM3916Se	画面	○	○	○	○	○	○
102		種別コードが譲渡記録請求“20”または分割記録請求“30”の場合、同一債権に対する請求が競合していないこと。（注5）	D12	KCMN1016SE	ファイル	○	○	○	○	○	○
103		種別コードが譲渡記録請求“20”または分割記録請求“30”の場合、当該データレコードより前のサブファイルのデータレコードの中に、同一記録番号が存在しないこと。	D12	KCMN1045SE	ファイル	×	○	○	○	×	×
103-1		種別コードが譲渡記録請求“20”または分割記録請求“30”の場合、当該データレコードより前のデータレコード（同一ファイル内）の中に、種別コードが譲渡記録請求“20”の同一記録番号が存在しないこと。	D12	KCMN1141SE	ファイル	○	○	○	○	○	×

表 付録-2 一括記録請求ファイル（集信1）のチェック仕様（6/8）

項番	チェック対象	チェック条件	項目番号	エラーコード	出力先	チェック要否					
						アップロード方法					
						①一括記録メニュー画面にて、「登録」ボタンを選択してアップロードした場合	②一括記録メニュー画面にて、「非同期登録」ボタンを選択してアップロードした場合	③ダイヤルアップ系記憶機能を使用してアップロードした場合		④一括記録メニュー画面にて、「テスト」ボタンを選択してアップロードした場合	⑤一括記録結果一覧画面にて、「登録」ボタンを押下した場合（再請求時）
お客検索センタ検索コードが商用の場合		お客検索センタ検索コードがテストの場合									
104	ト レ ー ラ レ コ ー ド	合計件数	T02	KCMN1004SE	ファイル	○	○	○	○	○	×
105		合計件数が半角数字であること。	T02	KCMN1002SE	ファイル	○	○	○	○	○	×
106		合計金額	T03	KCMN1004SE	ファイル	○	○	○	○	○	×
107		合計金額が半角数字であること。	T03	KCMN1002SE	ファイル	○	○	○	○	○	×
108		合計件数	T02	KCMN1009SE	ファイル	○	○	○	○	○	×
109		合計金額	T03	KCMN1010SE	ファイル	○	○	○	○	○	×
110	ファイル全体	項番7～14および20～47、51～109のチェックにエラーがないこと。	-	KCMN1012Se	画面	○	○	○	○	○	○
111		種別コードが譲渡記録請求“20”または分割記録請求“30”のデータレコードの中に、保証随伴フラグが<0:無>のデータレコードが存在しないこと。（注6）	-	-（注6）	画面（注6）	○	○	○	○	○	○
112	ファイル全体（取引一回当たり限度額）	指定した承認者のユーザの取引一回当たり限度額に対するチェック				-	-	-	-	-	-
113		全トレーラレコードの合計金額の合計が、指定した承認者に設定されている取引一回当たり限度額（一括）以下であること。	-	KCOM1266Se KCOM1267Se （注10）	画面	△ 仮登録・修正時のみチェックする。 【チェック実行条件】 （注9）パターンNo. 1、2のいずれかに該当する場合	×	×	×	×	△ 仮登録時のみチェックする。 【チェック実行条件】 初回申請区分が同期の場合、（注9）パターンNo. 1、2のいずれかに該当する場合
114		トレーラレコードの合計金額が、指定した承認者に設定されている取引一回当たり限度額（一括）以下であること。	-	KCOM1266Se	画面	×	△ 仮登録時のみチェックする。 【チェック実行条件】 （注9）パターンNo. 1、2のいずれかに該当する場合	×	×	×	△ 仮登録時のみチェックする。 【チェック実行条件】 初回申請区分が非同期の場合、（注9）パターンNo. 1、2のいずれかに該当する場合
115		種別コードが発生記録請求（債権者請求方式）“11”または発生記録請求（債権者請求方式）“12”のデータレコードの債権金額が、指定した承認者に設定されている取引一回当たり限度額（発生）以下であること。	-	KCOM1266Se KCOM1267Se （注10）	画面	△ 仮登録・修正時のみチェックする。 【チェック実行条件】 （注9）パターンNo. 1、2のいずれかに該当する場合	△ 仮登録時のみチェックする。 【チェック実行条件】 （注9）パターンNo. 1、2のいずれかに該当する場合	×	×	×	△ 仮登録時のみチェックする。 【チェック実行条件】 初回申請区分が同期、または、非同期の場合、（注9）パターンNo. 1、2のいずれかに該当する場合
116		種別コードが譲渡記録請求“20”または分割記録請求“30”のデータレコードの債権金額が、指定した承認者に設定されている取引一回当たり限度額（譲渡・分割）以下であること。	-	KCOM1266Se KCOM1267Se （注10）	画面	△ 仮登録・修正時のみチェックする。 【チェック実行条件】 （注9）パターンNo. 1、2のいずれかに該当する場合	△ 仮登録時のみチェックする。 【チェック実行条件】 （注9）パターンNo. 1、2のいずれかに該当する場合	×	×	×	△ 仮登録時のみチェックする。 【チェック実行条件】 初回申請区分が同期、または、非同期の場合、（注9）パターンNo. 1、2のいずれかに該当する場合

表 付録-2 一括記録請求ファイル（集信1）のチェック仕様（7/8）

項番	チェック対象	チェック条件	項目番号	エラーコード	出力先	チェック要否				
						アップロード方法				
						①一括記録メニュー画面にて、「登録」ボタンを選択してアップロードした場合	②一括記録メニュー画面にて、「非同期登録」ボタンを選択してアップロードした場合	③ダイヤルアップ集配機能を使用してアップロードした場合		④一括記録メニュー画面にて、「テスト」ボタンを選択してアップロードした場合
							お客様側センタ確認コードが 開用の場合	お客様側センタ確認コードが テスト用の場合		
117	ファイル全体（取引一回当たり限度額）	取引一回当たり限度額を満たすユーザーの存在チェック				-	-	-	-	-
118		全トレーレコードの合計金額の合計以上の、取引一回当たり限度額（一括）が設定されているユーザーが存在すること。	-	KCOM1270Se KCOM1271Se (注10)	画面	仮登録・修正時のみチェックする。 【チェック実行条件】 (注9) パターンNo. 3、4のいずれかに該当する場合	×	×	×	仮登録時のみチェックする。 【チェック実行条件】 初回申請区分が同期の場合、(注9) パターンNo. 3、4のいずれかに該当する場合
119		トレーレコードの合計金額以上の、取引一回当たり限度額（一括）が設定されているユーザーが存在すること。	-	KCOM1270Se	画面	×	△ 仮登録時のみチェックする。 【チェック実行条件】 (注9) パターンNo. 3、4のいずれかに該当する場合	×	×	△ 仮登録時のみチェックする。 【チェック実行条件】 初回申請区分が非同期の場合、(注9) パターンNo. 3、4のいずれかに該当する場合
120		全トレーレコードの合計金額以上の、取引一回当たり限度額（ダイヤルアップ集配信）が設定されているユーザーが存在すること。	-	KCOM1270Se KCOM1271Se (注10)	画面	×	×	×	×	△ 仮登録時のみチェックする。 【チェック実行条件】 初回申請区分がダイヤルアップの場合、(注9) パターンNo. 3、4のいずれかに該当する場合
121		種別コードが発生記録請求（債務者請求方式）“11”または発生記録請求（債権者請求方式）“12”のデータレコードの債権金額以上の、取引一回当たり限度額（発生）が設定されているユーザーが存在すること。	-	KCOM1270Se KCOM1271Se (注10)	画面	仮登録・修正時のみチェックする。 【チェック実行条件】 (注9) パターンNo. 3、4のいずれかに該当する場合	△ 仮登録時のみチェックする。 【チェック実行条件】 (注9) パターンNo. 3、4のいずれかに該当する場合	×	×	△ 仮登録時のみチェックする。 【チェック実行条件】 (注9) パターンNo. 3、4のいずれかに該当する場合
122		未使用								
123		種別コードが譲渡記録請求“20”または分割記録請求“30”のデータレコードの債権金額以上の、取引一回当たり限度額（譲渡・分割）が設定されているユーザーが存在すること。	-	KCOM1270Se KCOM1271Se (注10)	画面	△ 仮登録・修正時のみチェックする。 【チェック実行条件】 (注9) パターンNo. 3、4のいずれかに該当する場合	△ 仮登録時のみチェックする。 【チェック実行条件】 (注9) パターンNo. 3、4のいずれかに該当する場合	×	×	△ 仮登録時のみチェックする。 【チェック実行条件】 (注9) パターンNo. 3、4のいずれかに該当する場合
124		未使用								
125		承認者自身の取引一回当たり限度額に対するチェック				-	-	-	-	-
126		全トレーレコードの合計金額の合計が、承認者に設定されている取引一回当たり限度額（一括）以下であること。	-	KCOM1272Se	画面	承認時のみチェックする。 【チェック実行条件】 (注9) パターンNo. 1～4のいずれかに該当する場合	×	×	×	△ 承認時のみチェックする。 【チェック実行条件】 初回申請区分が同期の場合、(注9) パターンNo. 1～4のいずれかに該当する場合
127		トレーレコードの合計金額が、承認者に設定されている取引一回当たり限度額（一括）以下であること。	-	KCOM1272Se	画面	×	△ 承認時のみチェックする。 【チェック実行条件】 (注9) パターンNo. 1～4のいずれかに該当する場合	×	×	△ 承認時のみチェックする。 【チェック実行条件】 初回申請区分が非同期の場合、(注9) パターンNo. 1～4のいずれかに該当する場合
128		トレーレコードの合計金額が、承認者に設定されている取引一回当たり限度額（ダイヤルアップ集配信）以下であること。	-	KCOM1272Se	画面	×	×	△ 承認時のみチェックする。 【チェック実行条件】 (注9) パターンNo. 3、4のいずれかに該当する場合	×	△ 承認時のみチェックする。 【チェック実行条件】 初回申請区分がダイヤルアップの場合、(注9) パターンNo. 3、4のいずれかに該当する場合
129		種別コードが発生記録請求（債務者請求方式）“11”または発生記録請求（債権者請求方式）“12”のデータレコードの債権金額が、いずれも、承認者に設定されている取引一回当たり限度額（発生）以下であること。	-	KCOM1272Se	画面	△ 承認時のみチェックする。 【チェック実行条件】 (注9) パターンNo. 1～4のいずれかに該当する場合	△ 承認時のみチェックする。 【チェック実行条件】 (注9) パターンNo. 1～4のいずれかに該当する場合	△ 承認時のみチェックする。 【チェック実行条件】 (注9) パターンNo. 3、4のいずれかに該当する場合	×	△ 承認時のみチェックする。 【チェック実行条件】 初回申請区分が同期、または、非同期の場合、(注9) パターンNo. 1～4のいずれかに該当する場合 初回申請区分がダイヤルアップの場合、(注9) パターンNo. 3、4のいずれかに該当する場合
130		種別コードが譲渡記録請求“20”または分割記録請求“30”のデータレコードの債権金額が、いずれも、承認者に設定されている取引一回当たり限度額（譲渡・分割）以下であること。	-	KCOM1272Se	画面	△ 承認時のみチェックする。 【チェック実行条件】 (注9) パターンNo. 1～4のいずれかに該当する場合	△ 承認時のみチェックする。 【チェック実行条件】 (注9) パターンNo. 1～4のいずれかに該当する場合	△ 承認時のみチェックする。 【チェック実行条件】 (注9) パターンNo. 3、4のいずれかに該当する場合	×	△ 承認時のみチェックする。 【チェック実行条件】 初回申請区分が同期、または、非同期の場合、(注9) パターンNo. 1～4のいずれかに該当する場合 初回申請区分がダイヤルアップの場合、(注9) パターンNo. 3、4のいずれかに該当する場合

表 付録-2 一括記録請求ファイル(集信1)のチェック仕様(8/8)

項番	チェック対象	チェック条件	項目番号	エラーコード	出力先	チェック要否 アップロード方法					
						①一括記録メニュー画面にて、「登録」ボタンを選択してアップロードした場合	②一括記録メニュー画面にて、「非同期登録」ボタンを選択してアップロードした場合	③ダイヤルアップ権記権限を使用してアップロードした場合		④一括記録メニュー画面にて、「テスト」ボタンを選択してアップロードした場合	⑤一括記録結果一覧画面にて、「登録」ボタンを押し下した場合(再請求時)
								お客様センター総機コードが 開用の場合	お客様センター総機コードが テスト用の場合		
						△	△	△	△	△	
131	ファイル全体(取引一回当たり限度額)	指定した最終承認者の取引一回当たり限度額に対するチェック				-	-	-	-	-	-
132	トレーラレコードの合計金額の合計が、指定した最終承認者の取引一回当たり限度額(一括)以下であること。		-	KCMN1277Se	画面	△ 一次承認時のみチェックする。 【チェック実行条件】 (注9)パターンNo. 2に該当する場合	×	×	×	×	△ 一次承認時のみチェックする。 【チェック実行条件】 初回申請区分が同期の場合、(注9)パターンNo. 2に該当する場合
133	トレーラレコードの合計金額が、指定した最終承認者の取引一回当たり限度額(一括)以下であること。		-	KCMN1276Se	画面	△ 一次承認時のみチェックする。 【チェック実行条件】 (注9)パターンNo. 2に該当する場合	×	×	×	△ 一次承認時のみチェックする。 【チェック実行条件】 初回申請区分が非同期的場合、(注9)パターンNo. 2に該当する場合	
134	種別コードが発行記録請求(債務者請求方式)“11”または発生記録請求(債権者請求方式)“12”のデータレコードの債権金額が、いずれも、指定した最終承認者に設定されている取引一回当たり限度額(発生)以下であること。		-	KCOM1276Se KCOM1277Se (注10)	画面	△ 一次承認時のみチェックする。 【チェック実行条件】 (注9)パターンNo. 2に該当する場合	×	×	×	△ 一次承認時のみチェックする。 【チェック実行条件】 初回申請区分が同期、または、非同期的場合、(注9)パターンNo. 2に該当する場合	
135	種別コードが譲渡記録請求“20”または分割記録請求“30”のデータレコードの債権金額が、いずれも、指定した最終承認者に設定されている取引一回当たり限度額(譲渡・分割)以下であること。		-	KCOM1276Se KCOM1277Se (注10)	画面	△ 一次承認時のみチェックする。 【チェック実行条件】 (注9)パターンNo. 2に該当する場合	×	×	×	△ 一次承認時のみチェックする。 【チェック実行条件】 初回申請区分が同期、または、非同期的場合、(注9)パターンNo. 2に該当する場合	
136	ファイル全体	取引先情報ファイル登録処理実施中でないこと。		(注15)	画面 (注15)	△ 仮登録・修正時のみチェックする。 【チェック実行条件】 (注14)パターンNo. 1に該当する場合	△ 仮登録時のみチェックする。 【チェック実行条件】 (注14)パターンNo. 3に該当する場合	△ 仮登録時のみチェックする。 【チェック実行条件】 (注14)パターンNo. 5に該当する場合	△ 【チェック実行条件】 (注14)パターンNo. 6に該当する場合	△ 【チェック実行条件】 (注14)パターンNo. 6に該当する場合	△ 初回請求時の指定条件を基に、仮登録時のみチェックする。 【チェック実行条件】 初回申請区分が同期の場合、(注14)パターンNo. 1に該当する場合 初回申請区分が非同期的場合、(注14)パターンNo. 3に該当する場合 初回申請区分がダイヤルアップの場合、(注14)パターンNo. 5に該当する場合
137	再請求重複取引防止チェック	再請求する取引において、既に仮登録済み、および、承認済みでないこと。		KCOM1399Se	画面	×	×	×	×	×	○

(注1) 利用申込にて、金融機関オプション「一括記録請求ファイルの上限設定機能」を「利用する」で申し込む際に、各金融機関ごとに設定する。

(注2) DENTRANSにて利用可能な半角文字を「表 システム規定半角文字」に示す。なお、DENTRANSにて半角文字を入力する場合、Shift-JISコード文字のうち「JIS X 0201」規格で制定されているもののみ利用可能とする。

表 システム規定半角文字

半角文字					
a	A	ア	マ	0	J
b	B	イ	ミ	1	Y
c	C	ウ	ム	2	*
d	D	エ	メ	3)
e	E	オ	モ	4	:
f	F	カ	ム	5	-
g	G	キ	モ	6	/
h	H	ク	メ	7	
i	I	ケ	モ	8	.
j	J	コ	メ	9	%
k	K	ク	ム	▲*	..
l	L	ク	レ		>
m	M	ス	ル		?
n	N	セ	ル		:
o	O	ソ	ル		#
p	P	カ	ル		@
q	Q	チ	ル		
r	R	ウ	ル		=
s	S	チ	ル		<
t	T	ト	ル		(
u	U	ナ	ル		+
v	V	ニ	ル		
w	W	ス	ル		&
x	X	ネ	ル		\$
y	Y	ノ	ル		~
z	Z	ハ	ル		
		ヒ			
		フ			
		ヘ			
		マ			

* ▲は半角スペース

(注3) 金融機関申込および利用者登録時に設定する。

(注4) 利用者登録時に設定する。

(注5) 一括記録請求ファイル（集信1）内の同一債権に対してはチェックしない。

(注6) 注意喚起のためのチェックであり、保証随伴フラグが<0:無>のデータレコードが存在する場合でもエラーにはしない。保証随伴フラグが<0:無>のデータレコードが存在する場合の、アップロード方法に応じて以下のとおり出し分けを行う。

アップロード方法	出力方法
①一括記録メニュー画面にて、「登録」ボタンを選択してアップロードした場合（既存ルート）	画面上に「債権を譲渡するにあたり、保証を行いません。」のメッセージと、内容を確認した旨のチェックボックスを表示し、「仮登録の実行」ボタンを押下する際、チェックボックスへのチェックを必須とする。
②一括記録メニュー画面にて、「非同期登録」ボタンを選択してアップロードした場合	画面上に「債権を譲渡するにあたり、保証を行いません。」のメッセージと、内容を確認した旨のチェックボックスを表示し、「承認依頼の実行」ボタンを押下する際、チェックボックスへのチェックを必須とする。
③ダイヤルアップ集配信機能を使用してアップロードした場合	画面上に保証随伴フラグが<0:無>のデータレコードが存在する旨のメッセージのみを表示する。
④一括記録メニュー画面にて、「テスト」ボタンを選択してアップロードした場合	画面上に保証随伴フラグが<0:無>のデータレコードが存在する旨のメッセージのみを表示する。

(注7) 項目番号、エラーコード、出力先については、アップロード方法に応じて以下のとおり出し分けを行う。

(1) 注意喚起/エラーの出力先

①一括記録メニュー画面にて、「登録」ボタンを選択してアップロードした場合
注意喚起、エラー共に画面に出力する。

取扱時限付近の 場合のチェック有無	仮登録もしくは承認の操作を行った時刻									
	14:00 以前		14:00 超過 14:30 以前		14:30 超過 15:00 以前		15:00 超過			
	チェック結果	チェック結果	注意喚起/エラーの出力先		チェック結果	注意喚起/エラーの出力先		チェック結果	注意喚起/エラーの出力先	
チェックなし	続行可	続行可	仮登録時	承認時	続行可	仮登録時	承認時	続行可	仮登録時	承認時
チェックあり (続行可能)	続行可	注意喚起 (続行可)	画面		注意喚起 (続行可)	画面		エラー (続行不可)	画面	
チェックあり (続行不可)	続行可	注意喚起 (続行可)	画面		エラー (続行不可)	画面		エラー (続行不可)	画面	

②一括記録メニュー画面にて、「非同期登録」ボタンを選択してアップロードした場合

『①一括記録メニュー画面にて、「登録」ボタンを選択してアップロードした場合』と同様に、バッチでの仮登録処理の完了後、結果通知画面にて担当者による内容確認を行い、承認者による承認を行うフローとなる。そのため、注意喚起/エラーの出力先についても『①一括記録メニュー画面にて、「登録」ボタンを選択してアップロードした場合』と同様に、注意喚起、エラー共に画面に出力する。

取扱時限付近の場合のチェック有無	仮登録もしくは承認の操作を行った時刻										
	14:00 以前		14:00 超過 14:30 以前			14:30 超過 15:00 以前			15:00 超過		
	チェック結果	チェック結果	注意喚起/エラーの出力先		チェック結果	注意喚起/エラーの出力先		チェック結果	注意喚起/エラーの出力先		
			仮登録時	承認時		仮登録時	承認時		仮登録時	承認時	
チェックなし	続行可	続行可	—	—	続行可	—	—	続行可	—	—	
チェックあり (続行可能)	続行可	注意喚起 (続行可)	画面		注意喚起 (続行可)	画面		エラー (続行不可)	画面		
チェックあり (続行不可)	続行可	注意喚起 (続行可)	画面		エラー (続行不可)	画面		エラー (続行不可)	画面		

③ダイヤルアップ集配信機能を使用してアップロードした場合 (チェックはお客様側センタ確認コードが商用の場合のみ実施)

<仮登録時>

- ・チェック結果が注意喚起の場合、当該チェックの完了時には既に承認者への承認依頼通知がされており、承認者側で時限間際であることを注意喚起すればよいため、仮登録時は注意喚起のメッセージは出力しないこととする。
- ・チェック結果がエラーの場合、企業のオプション利用状況によって正常分のサブファイルだけ続行させることも可能であるため、エラーは画面ではなくエラーファイル内の該当レコードに出力する。

<承認時>

『①一括記録メニュー画面にて、「登録」ボタンを選択してアップロードした場合』と同様に、注意喚起、エラー共に画面に出力する。

取扱時限付近の場合のチェック有無	仮登録もしくは承認の操作を行った時刻										
	14:00 以前		14:00 超過 14:30 以前			14:30 超過 15:00 以前			15:00 超過		
	チェック結果	チェック結果	注意喚起/エラーの出力先		チェック結果	注意喚起/エラーの出力先		チェック結果	注意喚起/エラーの出力先		
			仮登録時	承認時		仮登録時	承認時		仮登録時	承認時	
チェックなし	続行可	続行可	—	—	続行可	—	—	続行可	—	—	
チェックあり (続行可能)	続行可	注意喚起 (続行可)	—	画面	注意喚起 (続行可)	—	画面	エラー (続行不可)	ファイル	画面	
チェックあり (続行不可)	続行可	注意喚起 (続行可)	—	画面	エラー (続行不可)	ファイル	画面	エラー (続行不可)	ファイル	画面	

(2) 項目番号、エラーコード

チェック結果と出力先に応じて、出し分けを行う。

チェック結果	出力先	項目番号	エラーコード
注意喚起 (続行可)	画面	—	KCMN1019S1 または KCMN1020S1
	画面	—	KCMN1018Se
エラー (続行不可)	画面	—	KCMN1018Se
	ファイル	H04	KCMN1018SE

(注8) 注意喚起のためのチェックであり、ユーザが存在しない場合でもエラーにはせず、仮登録のバッチ処理時点で承認可能なユーザが存在しない旨を、仮登録結果通知画面に表示する。

(注9) チェック実行条件のパターンを下表に示す。

【前提】

本チェックについては、操作ユーザが法人IBユーザの場合（法人IBからの操作の場合）のみ行う。

パターン No	概要	一括記録請求における各機能の利用状況			利用状況における、オプション、企業情報の登録内容						その他条件
		詳細			金融機関申込			企業情報管理の設定値			
		取引一回当たり 限度額管理機能	同一ユーザによる仮登 録/承認の抑止機能	承認管理機能 (承認者指定の利用)	取引一回当たり 限度額管理機能	同一ユーザによる仮登 録/承認の抑止機能	承認管理機能	同一ユーザによる仮登 録/承認の抑止機能の 利用有無	承認管理機能の 利用有無	一括業務の 「承認機能区分」	
1	全ての機能を利用し、シングル承認の場合	○	○	○ (1名指定)	利用する	利用する	利用する	利用する	利用する	シングル承認 (承認者指定あり)	
2	全ての機能を利用し、ダブル承認の場合	○	○	○ (2名指定)	利用する	利用する	利用する	利用する	利用する	「ダブル承認 (順序なし)」または「ダブル承認 (順序あり)」	「ダブル承認 (順序あり)」の場合、一次承認者に関するファイル全体 (取引一回当たり限度額) のチェックは行わない。
3	限度額管理機能と同一ユーザによる仮登録/承認の抑止機能を利用する場合	○	○	×	利用する	利用する	利用する	利用する	利用する	シングル承認 (承認者指定なし)	
							利用しない	利用する	-	-	
4	限度額管理機能のみ、利用する場合	○	×	×	利用する	利用する	利用する	利用しない	-	-	
							利用しない	利用しない	-	-	
5	同一ユーザによる仮登録/承認の抑止機能と承認管理機能を利用し、シングル承認の場合	×	○	○ (1名指定)	利用しない	利用する	利用する	利用する	利用する	シングル承認 (承認者指定あり)	
6	同一ユーザによる仮登録/承認の抑止機能と承認管理機能を利用し、ダブル承認の場合	×	○	○ (2名指定)	利用しない	利用する	利用する	利用する	利用する	「ダブル承認 (順序なし)」または「ダブル承認 (順序あり)」	
7	同一ユーザによる仮登録/承認の抑止機能のみ、利用する場合	×	○	×	利用しない	利用する	利用する	利用する	利用する	シングル承認 (承認者指定なし)	
							利用しない	利用する	-	-	
8	全ての機能を利用しない場合	×	×	×	利用しない	利用する	利用する	利用しない	-	-	
						利用しない	利用しない	-	-		

【凡例】

○：当該機能を利用する。 ○ 内は、承認管理機能において、指定承認者として指定する承認者数を示す。

×

-：当該機能を利用しない

-：企業情報にて登録不可能。当該パターンとしては「利用しない」と同等の挙動となる。

(注10) エラーコードが複数定義されているが、チェック対象のデータの違いであり、一度のチェックで複数のエラーコードが表示されるわけではない。

(注11) ダイアルアップ集配信機能のサブオプション（金融機関オプション）の申込状況に応じてチェックを実行する。
 チェック実行条件のパターンを下表に示す。

パターンNo	金融機関オプションの申込状況				
	ダイアルアップ集配信機能の利用有無	ダイアルアップ集配信機能のサブオプション			
		一括記録請求ファイルの上限引き上げ機能	一括記録請求ファイルの上限値設定機能	一括記録請求ファイルへのマルチ口座設定機能	ダイアルアップ集配信におけるマルチ契約口座伝送機能
1	利用する	利用する	利用する	利用する	利用する
2				利用しない	利用しない
3				利用する	利用する
4				利用しない	利用しない
5			利用しない	利用する	利用する
6				利用しない	利用しない
7				利用する	利用する
8				利用しない	利用しない
9		利用しない	利用しない	利用する	利用する
10				利用しない	利用しない
11				利用する	利用する
12				利用しない	利用しない

(注12) 一括記録において、発生予約中債権の譲渡予約を制限できないケース
 一括記録については、でんさいネットから受領した、DENTRANS内の発生記録通知に基づき、発生予約中債権の譲渡予約の制限を実施する。
 そのため、例外的なケースにおいて、発生予約中債権の譲渡予約の制限が出来ない。
 詳細を以下に示す。
 ①発生記録通知を受け取る前に、一括記録による譲渡記録請求（予約）を実施した場合。
 （通常、発生記録通知を受け取らないと、記録番号が不明のため、このような取引は困難。）
 ②発生記録通知を受領後、分割・付替等で、利用者番号が変更になった場合。
 （異動後の利用者には、発生記録通知が存在しない状態となるため。）

(注13) エラー還元について
 承認時のチェックエラーの場合、画面にエラーメッセージを表示する。承認時以外のチェックエラーの場合は、ファイルにエラーコードを還元する。

(注14) チェック実行条件のパターンを下表に示す。

パターンNo	一括記録請求の取引先名表示機能 (金融機関オプションの申込状況)	アップロード方法	「取引先名の表示」チェックボックス
1	利用する	①一括記録メニュー画面にて、「登録」ボタンを選択してアップロードした場合	チェック有
2			チェック無
3		②一括記録メニュー画面にて、「非同期登録」ボタンを選択してアップロードした場合	チェック有
4			チェック無
5		③ダイヤルアップ集配機能を使用してアップロードした場合	— (選択画面なし、チェック有として扱う)
6		④一括記録メニュー画面にて、「テスト」ボタンを選択してアップロードした場合	チェック有
7			チェック無
8	利用しない	—	—

(注15) アップロード方法、チェックタイミングに応じて画面にエラーメッセージを表示する。

パターンNo	アップロード方法	チェックタイミング	エラーコード	出力先
1	①一括記録メニュー画面にて、「登録」ボタンを選択してアップロードした場合	SKCMN11101 (一括記録請求仮登録画面) にて、「仮登録の確認へ」ボタン押下時	CCOM3925Se	SKCMN11101 (一括記録請求仮登録画面)
2		SKCMN11102 (一括記録請求仮登録確認画面) にて、「仮登録の実行」ボタン押下時	CCOM3925Se	SKCMN11102 (一括記録請求仮登録確認画面)
3		SKCMN11302 (一括記録請求仮登録修正画面) にて、「修正内容の確認へ」ボタン押下時	CCOM3925Se	SKCMN11302 (一括記録請求仮登録修正画面)
4		SKCMN11303 (一括記録請求仮登録修正確認画面) にて、「修正の実行」ボタン押下時	CCOM3925Se	SKCMN11303 (一括記録請求仮登録修正確認画面)
5	②一括記録メニュー画面にて、「非同期登録」ボタンを選択してアップロードした場合	SKCMN11101 (一括記録請求仮登録画面) にて、「仮登録依頼の実行」ボタン押下時	CCOM3925Se	SKCMN11101 (一括記録請求仮登録画面)
6		SKCMN11101 (一括記録請求仮登録画面) にて、「仮登録依頼の実行」ボタン押下後の、仮登録処理 (非同期)	KCMN1122Se	SKCMN11106 (一括記録請求仮登録結果通知情報詳細画面)
7	③ダイヤルアップ集配機能を使用してアップロードした場合 (お客様側センタ 確認コードが商用の場合)	ダイヤルアップ集配機能による請求ファイル受信後の、仮登録処理 (非同期)	—	SKCMN11106 (一括記録請求仮登録結果通知情報詳細画面) ※仮登録処理実施時に取引情報ファイル登録処理中であった場合、一定時間待機後に再度チェックする。 一定回数チェックし、それでも登録処理中であった場合はチェックエラーにはせず、注意喚起を画面に表示する。
8	③ダイヤルアップ集配機能を使用してアップロードした場合 (お客様側センタ 確認コードがテスト用の場合)	ダイヤルアップ集配機能による請求ファイル受信後の、仮登録処理 (非同期)	—	SKCMN11106 (ダイヤルアップ集配信導入テスト結果通知情報詳細画面) ※仮登録処理実施時に取引情報ファイル登録処理中であった場合、一定時間待機後に再度チェックする。 一定回数チェックし、それでも登録処理中であった場合はチェックエラーにはせず、注意喚起を画面に表示する。
9	④一括記録メニュー画面にて、「テスト」ボタンを選択してアップロードした場合	SKCMN11191 (一括記録請求 (導入テスト) 画面) にて、「テストの実行」ボタン押下時	CCOM3925Se	SKCMN11191 (一括記録請求 (導入テスト) 画面)

(注16) 保証随伴フラグのエラーコード「KCMN1002SE」「KCMN124SE」について、それぞれのチェック条件を下表に示す。

パターンNo	【共通サービス仕様-業務】 「利用者からの保証なし譲渡可否 (流動化支援)」	【追加機能情報-共通サービス仕様-業務】 「利用者からの保証なし譲渡可否 (流動化支援) 詳細」	【共通サービス仕様-業務】 「保証なし譲渡口座機能の利用有無」	取引相手情報	保証随伴 フラグ	エラー コード
1	利用者からの保証なし譲渡を利用しない	—	利用しない	—	有*1*	KCMN1002SE
2			利用する	保証なし譲渡対象口座以外	有*1*	
3	利用者からの保証なし譲渡を利用する	通常請求による譲渡記録請求のみ	利用しない	—	有*1*	
4			通常請求による譲渡記録請求のみ	利用する	保証なし譲渡対象口座以外	
5	—	—	利用する	保証なし譲渡対象口座	無*0*	KCMN124SE

➤ 取引先情報のファイル登録のチェック仕様について記載する。なお、各項目の詳細については表 付録－4に記載する。

1. チェック順序

表 付録－4の項番順に従い、チェックを行う。

- (1) 表 付録－4中のチェック対象が「ファイル全体」の場合
エラーとなった場合は、チェック処理を打ちきり、ファイル全体をエラーとして扱う。
- (2) 表 付録－4中のチェック対象が上記(1)以外の場合
エラーとなった場合も、当該レコードのチェックを継続する。(※)

※ただし、1レコードあたり2件のエラーを発見した場合は、当該レコードのチェックを中断し、次レコードのチェックに進む。

2. ファイル登録に利用しない項目の取り扱い

各ファイルについて、表 付録－4に記載の項目のみ、チェック対象とする。記載が無い項目については、チェック対象外とするため、不正な値が設定されていても、読み飛ばすこととする。

3. 基本事項

取引先情報のファイル登録にかかる基本事項を、表 付録－3に示す。

表 付録-3 取引先情報のファイル登録にかかる基本事項

項番	チェック対象 (概要)	チェックがNGとなった場合の エラー種別 (登録状況)	エラーを確認する 画面	取引先情報登録結果 ファイルの還元有無	取引先情報の 登録有無	備考
1	ファイル全体にか かるチェック 条件	ファイル全体エラー	取引先情報ファイル 登録結果一覧	無し	登録しない	ファイルの再登録が必要となる。
2	各レコードにか かるチェック条 件	エラー	取引先情報ファイル 登録結果詳細	有り (注1)	登録しない	エラーとなった取引先情報は、フ ァイル等による再登録が必要となる。
3		正常(ワーニング有)	取引先情報ファイル 登録結果詳細	有り (注1)	登録する	正常(ワーニング有)となった取引 先情報は、登録済みであるため、 ワーニング内容の修正が必要とな る。
4		口座未確認	取引先情報ファイル 登録結果詳細	有り (注1)	登録しない	取引先情報ファイル登録結果詳細 画面より、口座存在確認の実施が 必要となる。

(注1)エラーもしくはワーニング有となった場合、表 付録-4中のエラーコードに基づき、エラーコードならびにエラー内容を、「取引先情報登録結果ファイル」のエラーコード1、エラー情報1、エラーコード2、エラー情報2に設定する。

【チェック要否欄の凡例】
 ○:チェックする
 ×:チェックしない

表 付録-4 取引先情報のファイル登録のチェック仕様詳細 (1/3)

項番	チェック対象	チェック条件	チェックがNGとなった場合のエラー種別(登録状況)	エラーコード	アップロードファイル形式毎のチェック要否			「取引先情報のグループ管理機能」の利用有無によるチェック要否		取引先の金融機関ならびに登録状況に応じたチェック要否		
					①集信1形式	②総合振込形式	③CSV形式	利用する	利用しない	自行	他行	
											同一の取引先情報の登録有り	同一の取引先情報の登録無し
1	ファイル全体	ファイル内にデータが存在すること。	ファイル全体エラー	CCOM3924Le	○	○	○	○	○	○	○	○
2		レコード長が規定のバイトであること。	ファイル全体エラー	CCOM3920Le	○	○	×	○	○	○	○	○
3		規定のCSV形式であること。	ファイル全体エラー	CCOM3921Le	×	×	○ (注1)	○	○	○	○	○
4		ファイルの先頭がヘッダレコードであること。	ファイル全体エラー	CCOM3923Le	○	○	×	○	○	○	○	○
5		エンドレコードが存在すること。	ファイル全体エラー	CCOM3923Le	○	○	×	○	○	○	○	○
6		ヘッダレコードの場合、先頭にあるか、前のレコードがトレーラレコードであること。	ファイル全体エラー	CCOM3922Le	○	○	×	○	○	○	○	○
7		データレコードの場合、前のレコードがヘッダレコードかデータレコードであること。	ファイル全体エラー	CCOM3922Le	○	○	×	○	○	○	○	○
8		トレーラレコードの場合、前のレコードがデータレコードであること。	ファイル全体エラー	CCOM3922Le	○	○	×	○	○	○	○	○
9		エンドレコードの場合、前のレコードがトレーラレコードであること。	ファイル全体エラー	CCOM3922Le	○	○	×	○	○	○	○	○
10		トレーラレコード以降に後続のレコードが存在する場合は、項番6～項番10のチェックを繰り返す。	-	-	○	○	×	○	○	○	○	○
11		項番3～10のチェックにエラーがない場合、データレコードの件数が20,000件以内であること。(注2)	ファイル全体エラー	CCOM1556Se	○	○	○	○	○	○	○	○
12	種別コード	種別コードが指定されていること。	ファイル全体エラー	RCOM1028Le	○	○	×	○	○	○	○	○
13		種別コードが半角数字であること。	ファイル全体エラー	RCOM1027Le	○	○	×	○	○	○	○	○
14		種別コードが発生記録請求(債務者請求方式)“11”または発生記録請求(債権者請求方式)“12”または譲渡記録請求“20”または分割記録請求“30”のいずれかであること。	ファイル全体エラー	RCOM1027Le	○	×	×	○	○	○	○	○
15		種別コードが“21”総合振込となっていること。	ファイル全体エラー	RCOM1027Le	×	○	×	○	○	○	○	○
16	文字コード区分 (注3)	文字コード区分が指定されていること。	ファイル全体エラー	RCOM1028Le	○	○	×	○	○	○	○	○
17		文字コード区分が半角数字であること。	ファイル全体エラー	RCOM1027Le	○	○	×	○	○	○	○	○
18		文字コード区分がJIS“0”またはEBCDIC“1”であること。	ファイル全体エラー	RCOM1027Le	○	○	×	○	○	○	○	○

表 付録-4 取引先情報のファイル登録のチェック仕様詳細 (2/3)

項番	チェック対象			チェック条件	チェックがNGとなった場合のエラー種別(登録状況)	エラーコード	アップロードファイル形式毎のチェック要否			「取引先情報のグループ管理機能」の利用有無によるチェック要否		取引先の金融機関ならびに登録状況に応じたチェック要否			
							①集信1形式	②総合振込形式	③CSV形式	利用する	利用しない	自行	他行		
													同一の取引先情報の登録有り	同一の取引先情報の登録無し	
19	データ区分			データ区分が指定されていること。	エラー	RCOM1028Le	×	×	○	○	○	○	○		
20				データ区分が1桁かつ半角数字であること。	エラー	RCOM1027Le	×	×	○	○	○	○	○	○	
21				データ区分が“1”であること。	エラー	RCOM1027Le	×	×	○	○	○	○	○	○	
22	集信1形式	総合振込形式	CSV形式	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○		
23	データレコード	利用者番号	—	利用者番号	取引相手情報の利用者番号が指定されていること。	エラー	RCOM1028Le	○	×	×	○	○	○	○	
24					取引相手情報の利用者番号が9桁かつ半角英数字であること。	エラー	RCOM1027Le	○	×	△ (注5)	○	○	○	○	○
25		金融機関コード	被仕向銀行番号	金融機関コード	取引相手情報の金融機関コードが指定されていること。	エラー	RCOM1028Le	○	○	○	○	○	○	○	
26					取引相手情報の金融機関コードが4桁かつ半角数字であること。	エラー	RCOM1027Le	○	○	○ (注6)	○	○	○	○	○
27		支店コード	被仕向支店番号	支店コード	取引相手情報の支店コードが指定されていること。	エラー	RCOM1028Le	○	○	○	○	○	○	○	
28					取引相手情報の支店コードが3桁かつ半角数字であること。	エラー	RCOM1027Le	○	○	○ (注7)	○	○	○	○	○
29					取引相手情報の支店コードが存在すること。	エラー	RCOM1033Se	○	○	○	○	○	○	○	○
30		預金種目	預金種目	口座種別	取引相手情報の口座種別が指定されていること。	エラー	RCOM1028Le	○	○	○	○	○	○	○	
31					取引相手情報の口座種別が1桁かつ半角数字であること。	エラー	RCOM1027Le	○	○	○	○	○	○	○	○
32					取引相手情報の口座種別が普通“1”または当座“2”またはその他(別段)“9”であること。	エラー	RCOM1027Le	○	○	○	○	○	○	○	
33		口座番号	口座番号	口座番号	取引相手情報の口座番号が指定されていること。	エラー	RCOM1028Le	○	○	○	○	○	○	○	
34					取引相手情報の口座番号が7桁かつ半角数字であること。	エラー	RCOM1027Le	○	○	○ (注8)	○	○	○	○	○
35		—	—	—	登録名	取引相手情報の取引先登録名が全角文字60桁以内であること。	エラー	RCOM1027Le	×	×	○	○	○	○	
36		債権金額 (注9)			債権金額が指定されていること。	正常(ワーニング有)	RCOM1024Li	△ (注10)	△ (注10)	×	○	×	○	○	
37	債権金額が10桁かつ半角数字であること。				正常(ワーニング有)	RCOM1024Li	△ (注10)	△ (注10)	○ (注11)	○	×	○	○	○	
38	債権金額が10,000円以上であること。				正常(ワーニング有)	RCOM1024Li	△ (注10)	△ (注10)	○ (注17)	○	×	○	○	○	
39	取引先グループ			取引先グループID1から取引先グループID20が“null”または1桁の半角数字であること。	正常(ワーニング有)	RCOM1031Li	×	×	○	○	×	○	○		
40				取引先グループID1から取引先グループID20が“null”または非所属“0”または所属“1”であること。	正常(ワーニング有)	RCOM1031Li	×	×	○	○	×	○	○	○	
41	取引先所属グループ			指定した取引先グループが利用中であること。 (注12)	正常(ワーニング有)	RCOM1025Li	×	×	○	○	×	○	○		
42				指定した取引先グループに登録する取引先の件数が500件以内であること。	正常(ワーニング有)	RCOM1026Li	○	○	○	○	×	○	○	○	

表 付録-4 取引先情報のファイル登録のチェック仕様詳細 (3/3)

項番	チェック対象	チェック条件	チェックがNGとなった場合のエラー種別(登録状況)	エラーコード	アップロードファイル形式毎のチェック要否			「取引先情報のグループ管理機能」の利用有無によるチェック要否		取引先の金融機関ならびに登録状況に応じたチェック要否		
					①集信1形式	②総合振込形式	③CSV形式	利用する	利用しない	自行	他行	
											同一の取引先情報の登録有り	同一の取引先情報の登録無し
42-1	手数料負担区分	手数料負担区分が“null”または1桁の半角数字であること。	エラー	RCOM1027Le	×	×	△ (注21)	○	○	○	○	○
42-2		手数料負担区分が“null”または当方負担“1”または先方負担(登録済み金額)“2”または先方負担(指定金額)“3”であること。	エラー	RCOM1027Le	×	×	△ (注21)	○	○	○	○	○
42-3	指定金額	指定金額が指定されていること。	エラー	RCOM1028Le	×	×	△ (注22)	○	○	○	○	○
42-4		指定金額が4桁以下かつ半角数字であること。	エラー	RCOM1027Le	×	×	△ (注22)	○	○	○	○	○
43	口座情報(重複・既登録)	ファイル内に同一の口座情報(金融機関コード、支店コード、口座種別、口座番号)が存在しないこと。(注13)	エラー	RCOM1029Le	○	○	○	×	○	○	○	○
44		「ファイル登録を行った企業の既登録の取引先情報」の中に、同一の口座情報(金融機関コード、支店コード、口座種別、口座番号)が存在しないこと。(注14)	エラー	KCMN1065Le	△ (注15)	△ (注15)	△ (注15)	×	○	○	○	○
44-1		ファイル内に同一の口座情報(金融機関コード、支店コード、口座種別、口座番号)が存在しないこと。(注18)	エラー	RCOM1029Le	△ (注19)	△ (注19)	△ (注19)	○	×	○	○	○
44-2		「ファイル登録を行った企業の既登録の取引先情報」の中に、同一の口座情報(金融機関コード、支店コード、口座種別、口座番号)が存在しないこと。(注14)	エラー	KCMN1065Le	△ (注19)	△ (注19)	△ (注19)	○	×	○	○	○
45	口座情報(存在確認)	【取引先情報の金融機関が「自行分」の場合】 「DENTRANS内の利用者情報(口座情報)」への口座確認で、口座情報(金融機関コード、支店コード、口座種別、口座番号)が確認できること。(注14)	エラー	KCMN1013Se	○	○	○	○	○	○	×	×
46		【取引先情報の金融機関が「他行分」の場合】 「ファイル登録を行った企業の既登録の取引先情報」への口座確認で、口座情報(金融機関コード、支店コード、口座種別、口座番号)が確認できること。(注14)	口座未確認	-	○	○	○	本チェックの実施条件は(注20)参照				
47	口座情報(利用者番号の組合せ)	【取引先情報の金融機関が「自行分」の場合】 「DENTRANS内の利用者情報(口座情報)」への口座確認で、口座が一致した取引先情報に対して、利用者番号が一致すること。(注16)	エラー	RCOM1030Le	○	×	○	○	○	○	×	×
48		【取引先情報の金融機関が「他行分」の場合】 「ファイル登録を行った企業の既登録の取引先情報」への口座確認で、口座が一致した取引先情報に対して、利用者番号が一致すること。(注16) また、候補の取引先情報が複数該当する場合は、登録順が最も若い(直近で登録したもの)の、取引先情報の利用者番号との一致を試みる。	エラー	RCOM1030Le	○	×	○	○	○	×	○	×

データレコード(続き)

(注1)	CSV形式については、「レコードの項目数が一致していること」、「カンマ区切り」、「改行はCR、LF、CR+LFのいずれか」をチェックする。(ダブルクォーテーションの有無は任意とする。)「レコードの項目数が一致していること」については、「取引先情報のグループ管理機能」の利用有無に関わらず、項目数33、カンマ数32のチェックを行う。金融機関オプション「先方負担手数料機能の利用有無」が「利用する」の場合は、項目数33～84、カンマ数32～83のチェックを行う。(手数料(項番54)以降のフィールドを省略可能とする。)また、CSV形式のファイルフォーマットの、取引先グループID01～ID20(項番14～33)については、未設定も許容し、値の設定がない場合は、「0:非所属」として取り扱う。
(注2)	取引先情報ファイル登録画面で指定した登録方法により、チェック対象の件数が異なる。 ①登録方法:追加のみ [既登録件数+ファイルのレコード件数]で20,000件を超えた場合はエラーとする。 ②登録方法:全取引先を削除し追加 [ファイルのレコード件数]で20,000件を超えた場合はエラーとする。
(注3)	総合振込形式の場合は、「コード区分」を対象に、本チェックを行う。
(注4)	CSV形式については、文字コード区分の項目が存在しないため、チェック対象外である。 なお、CSV形式は、Shift_JISのみ許容する。
(注5)	CSV形式については、利用者番号の設定は任意であるため、値が設定されている場合のみ「1桁以上、9桁以内」、「半角英数字」であることをチェックする。 また、利用者番号が9桁に満たない場合は、前ゼロを補完して登録する。
(注6)	金融機関コードの値が「1桁以上、4桁以内」、「半角数字」であることをチェックする。 また、金融機関コードが4桁に満たない場合は、前ゼロを補完して登録する。
(注7)	支店コードの値が「1桁以上、3桁以内」、「半角数字」であることをチェックする。 また、支店コードが3桁に満たない場合は、前ゼロを補完して登録する。
(注8)	口座番号の値が「1桁以上、7桁以内」、「半角数字」であることをチェックする。 また、口座番号が7桁に満たない場合は、前ゼロを補完して登録する。
(注9)	取引先情報ファイル登録画面の「ファイル中の金額を債権金額として登録」をチェックした場合、ファイル毎に、以下のとおり債権金額として利用する。 ①集債1形式の場合 : 債権金額 ②総合振込形式の場合 : 振込金額 なお、ファイルに設定されている金額が、0～9,999円の場合は、登録債権金額を利用しない。
(注10)	取引先情報ファイル登録画面の「ファイル中の金額を債権金額として登録」をチェックした場合に、本チェックを行う。
(注11)	CSV形式については、債権金額の値が「1桁以上、10桁以内」であることをチェックする。
(注12)	未使用の取引先グループを指定していた場合でもエラーとせず、チェックならびに登録処理を継続する。 その場合、未使用の取引先グループが指定されていたことを、ワーニングとして還元する。
(注13)	同一の口座情報がファイル内に複数存在した場合の挙動は以下の通り。 金融機関オプションの申込み状況として、「取引先情報ファイル/重複登録の制御機能の利用有無」が「利用する」となっている場合、レコード順が一番若いレコードのみ正常とする。 上記以外の場合、同一口座情報となるレコードを全てエラーとする。
(注14)	同一の口座情報の存在有無の確認には、ファイル中の「金融機関コード、支店コード、口座種別、口座番号」を用いることとし、「利用者番号」は含めない。
(注15)	取引先情報ファイル登録画面の登録方法で「全取引先を削除し追加」を選択された場合は、本チェックは行わない。
(注16)	CSV形式については、利用者番号の設定は任意であるため、値が設定されている場合のみ、本チェックを行う。
(注17)	CSV形式については、債権金額の値が「0」の場合のみ正常とする。
(注18)	同一の口座情報がファイル内に複数存在した場合は、レコード順が一番若いレコードのみ正常とする。
(注19)	取引先情報ファイル登録画面の取引先情報重複登録可否チェックボックスにチェックが有の場合※のみ、本チェックを行う。 ※重複登録を許容しない

(注20)	本チェックの実施条件については下記の通り。							
金融機関オプションの申込状況		登録方法 (取引先情報 ファイル登録画面)		口座情報 (存在確認) 実施有無		チェック実施時の判定		備考
取引先グループ 登録機能	他行取引先の 法人名/個人事業者名 再確認機能				登録済の取引先情報 が存在する場合 (結果OK)	登録済の取引先情報 が存在しない場合 (結果NG)		
利用しない	利用しない	追加のみ	実施しない	口座未確認				チェックを行わず、登録状況 を「口座未確認」とする
		既存の取引先を全て 削除し追加	実施する	正常	口座未確認			
利用しない	利用する	追加のみ	実施しない	口座未確認				チェックを行わず、登録状況 を「口座未確認」とする
		既存の取引先を全て 削除し追加	実施しない	口座未確認				チェックを行わず、登録状況 を「口座未確認」とする
利用する	利用しない	追加のみ	実施する	正常	口座未確認			
利用する	利用する	追加のみ	実施する	正常	口座未確認			チェックを行わず、登録状況 を「口座未確認」とする
		既存の取引先を全て 削除し追加	実施しない	口座未確認				チェックを行わず、登録状況 を「口座未確認」とする
(注21)	金融機関オプション「先方負担手数料機能の利用有無」が「利用する」の場合のみ、本チェックを行う。							
(注22)	金融機関オプション「先方負担手数料機能の利用有無」が「利用する」の場合、かつ、手数料負担区分が先方負担（指定金額）“3”の場合のみ、本チェックを行う。 ※手数料負担区分が先方負担（指定金額）“3”以外の場合は読み飛ばす。							